

平成29年度教育課程研修会・講演会 報告書

教育課程部会

- 日時 11月24日（金） 10:00～午前の部 12:30～午後の部
- 会場 私学会館 大会議室および各会議室（分科会）
- テーマ 「今後の高校教育の課題と展望」
- 目的
 - ① 教育課程に限定せず、教務の仕事全般を見渡して、研究すべき諸問題を深める。
 - ② 特に今後の高校教育改革並びに高大接続改革の動向を注視し、その行方を学ぶ。
 - ③ 各学校の情報交換の場とする。

● 内容

《午前の部》

第1部 全体会（午前）

① 開会式 部会長挨拶

島田樟誠高等学校 理事長・校長 吉永 清貴

② 講演会1

『次期学習指導要領に対応した授業のすがたとICT活用』

講師：聖心女子大学教授 益川 弘如 先生

第2部 全体会（午後）

③ 県外視察研修会報告（本年度は広島県）

◇ 広陵高等学校 専門委員 菅谷 仁志（知徳）

◇ 修道中学校・高等学校 専門委員 池本 裕之（聖隷クリストファー）

④ 講演会2

『学校の情報化に必要な情報セキュリティとは』

講師：株式会社アールジェイ 石田 淳一 先生

分科会

事前に各高校の「新しい学力・教育」についての様子を伺うアンケートを実施し、当日持参していただき、資料として参加校の先生に配布しました。それに基づいて各分科会では情報交換ならびに意見交換を行った。

- 1 ICTを活用しての授業について
- 2 主体的・対話的な学びの実践について
- 3 基礎学力向上に向けての取り組みについて
- 4 観点別評価への対応について
- 5 その他（各学校での取り組みや課題等）

講演会について

- 入試改革について詳しく聞けてよかった。また教員が、実際に授業を体験できたので、今後何を求められているのかがわかりやすかった。情報セキュリティに関しても、講師の先生が非常にわかりやすく、本校でも実施していただきたいと感じた。
- ICT教育の推進について貴重な話を聞けました。

- 情報セキュリティは衝撃的だった。十分な知識がない中で、研修内容を職員に伝えるのは難しいと感じた。
- どちらの講演も、とても参考になりました。講演1では次期学習指導要領に対応した授業例や方針が良く理解できました。講演2では情報セキュリティについて、改めて危険性を実感させられる内容でした。講師の石田先生の話術もとても素晴らしく、講演内容のみならず授業での話し方の参考にもなりました。
- 講演会の内容は、いずれも現在の教育改革を考える上で避けて通ることのできない内容であったことから、参加前より興味を持っていたが、お話しされる内容についても大変興味深く、新しい知見もあり、有意義な時間となった。
- 情報セキュリティについて大変参考になりました。
- 講演会1では、「建設的相互作用」の考え方がわかりやすく学校での実践に活かそうであった。講演会2のセキュリティに関して、本校では意識が希薄になっているので警鐘としてとらえたい。
- 「振る舞いとしてのアクティブラーニングでなく、高い知的レベルを前提とした協働による課題解決活動」を求め、計画的に立案することが大切であると感じました。一方、こうした方法論の確立は容易でないとも感じています。

全体を通じての感想

- 今回の研修も、自校の取組や改善点が明確になり大変有意義なものであった。特に生徒が主体となる深い学びを達成するためには、ICTの利用が欠かせないものであること再認識することができた。
- 分科会での他校での実践例や学習指導要領改訂、県外での取り組みを知ることができ、大変良い刺激を受けることができた。
- グループ討議の時間がもう少し欲しいと感じた。
- 大変有意義な研修を受けることができました。自分の学校の課題がたくさん発見できたと思います。新課程に向けた研修をもっと受けていきたいと思います。課長だけでなく係長・補佐役を対象とした研修会をお願いしたいです。
- 情報セキュリティへの対応は費用も人員もきちんと配置して、しっかりした対応が求められると思います。
- eポートフォリオ・新しい調査書や指導要録についての研修会を実施してほしい。
- 深い学びのための論理的思考力を育てる必要性、論理的思考力を測るテストがパソコンで行われる方向性からICT機器を整備する必要性が出てくる課題をどうやってクリアしていけばいいのか考えさせられました。

【記録：専門委員 まとめ：副部長 島田樟誠高等学校 教諭 山本 真宏】